

工務店評価制度

4項目を4段階評価

全建総連で申請を受付開始

【本部技対部発】本紙6月1日号でお知らせした通り、「専門工事企業の施工能力等の見える化評価制度(以下、見える化制度)」では、国土交通省が3月29日に「基礎べい」「切断穿孔」「機械土工」「工務店(建築大工)」「鉄筋」とび・土工、以上6職種の評価基準を初めて認定しました。全建総連が評価実施機関となる「工務店評価基準」においても評価申請の受付を開始したのでお知らせするとともに、全国から積極的な活用をお願いいたします。

地域に根ざした中小工務店が対象

見える化制度は、CCUSに登録・蓄積される事業者情報や建設技能者

のうち新築及びリフォーム工事が概ね70%以上

レベル3以上であること

の能力評価制度を活用して企業の施工能力等を可視化する制度です。全建総連は、(一社)JBN・全国工務店協会、(一社)全国住宅産業界活性化協議会との3団体で工務店評価基準を策定し、評価実施団体として認定を受けました。

工務店評価では、評価対象の工務店を「完工高の能力評価基準において、一人親方を対象にした工務店評価」「S」基準を選択することも可能です。S基準は建築大工の能力評価基準において、一人親方を対象にした工務店評価「S」基準を選択することも可能です。S基準は建築大工の能力評価基準において、一人親方を対象にした工務店評価「S」基準を選択することも可能です。

が条件となります。両基準ともに、手がける仕事の内容が前述の対要件に合致していれば、工務店に限らず制度活用が可能です。人材育成、仕事確保の好循環を目指す。工務店評価は、事業者の規模や完成工事高のみならず、人材育成や適正処遇、地域貢献も含めて施工能力が高い事業者を高く評価することが大きな特徴です。また、二期での受注により、適切な利益を確保し、技能者の賃金の引き上げをはじめとした処遇改善や積極的な人材育成につなげていく好循環を実現するための制度です。

属組合の支援を受けることで高い評価を得ることが出来る内容が多く盛り込まれています。多くの工務店に活用いただき仕事確保や処遇改善につながるため、組合員への周知にとどまらず、住宅デー等を通じて地域のお客様への周知を全国で進めていきます。評価結果はHPで公表し消費者に訴求

工務店評価を受けた工務店は、評価結果通知書が発行されるだけでなく、評価結果は全建総連も含む評価実施機関のHPで公表されます。公表内容は4項目の☆に加え、任意で施工実績、自社HPや自社PRなどを掲載できるようにして地域の消費者に訴求することを目指します。評価結果のHPは国土交通省のHPからもリンクが予定されています。

工務店評価基準には全26の評価内容(S基準16)があり、大きく基礎情報・施工能力・コンプライアンスの3項目に全体評価を加えた4項目を「☆☆☆☆」から「☆☆☆☆(四つ星)」で評価。最上位は四つ星です。リフォーム瑕疵保険、認定訓練校の活用、各種競技大会への出場、登録建築大工基幹技能者、災害協定団体への所属、キャリア教育の実施など所

評価申請手数料は工務店評価基準が11000円、S基準が7700円(いずれも税込)で有効期間は1年間ですが、手数料に対する全建総連としての支援も検討する予定です。評価申請は評価申請書と確認書類等を所属組合経由でメールで提出いただけます。申請の詳細は所属組合または全建総連HPをご確認ください。

評価申請は評価申請書と確認書類等を所属組合経由でメールで提出いただけます。申請の詳細は所属組合または全建総連HPをご確認ください。



国土交通大臣 認定 専門工事企業の施工能力の見える化

CCUS登録25%超 町場で便利なアプリ活用

東京都連・建設ユニオン



指定Noへの発信で入退場登録

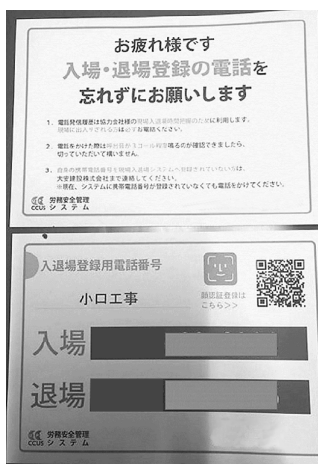
に発信するだけで「町場」の現場にカードリーダーを設置は「困難」との課題に

【東京都連・清水致子 記】首都圏建設産業ユニオン(建設ユニオン)では、CCUS登録が6月末に3392件(事業者923・技能者2469)に達し、独自設定の今年度目標登録率25%を超えました。年度末に向けて目標登録率を30%に上方修正して達成に挑みます。

建設ユニオンは今、CCUS現場登録と就業履歴蓄積の拡大に組織をあげて取り組んでいます。コムテックス

のAPI連携システム・キスクによる実証事業(国交省補助事業)にJBN所属の2社と不要で、元請事業者、現場監督が不在でも、その場でしっかり就業履歴を残すことができます。

さらに、スマホでの顔認証を併用すれば、なりすましを防止、認証精度を上げることが可能です。万一、技能者がスマホを忘れても現場入場する他の技能者の携帯からの認証もできます。現場入場した技能者は、掲示されている「現場QRコード」を読み取り、顔写真を撮影。誰がこの現場でどんな立場で作業したのかを確認することで、勤怠管理や能力評価につながります。今回の国交省補助事業に参加する誠建築の新築工事現場では、協力業者16社中15社が組合員なので、体験を仲間を広げさらにCCUS普及促進の機運を高めて行きます。



カードリーダーは不要

電話発信による入退場登録は、ガラケーでも可能で、簡単に就業履歴を残せ、従来のカードリーダーと接続用デバイス(PC、タブレットなど)は不要です。事前準備を済ませて、技能者が現場入退場時に指定の電話番号

顔認証を使えばなりすましも防止



顔認証を使えばなりすましも防止